

かまぼこ揚げたら、クルマを動かせ。

揚げかまぼこの廃油から、街のクルマが使うバイオ燃料を生産。



BDFは組合員の車や公用車等で利用。島と島を結ぶ渡船でも、燃料にBDFを導入する実験を進めている。



塩釜市団地水産加工業協同組合は、水産練り製品生産高が日本一という地域特性を生かして、揚げかまぼこの生産過程から発生する大量の廃食用油を資源として有効活用し、自動車や船舶の燃料「BDF (バイオディーゼル燃料)」に転換。BDF製造プラントの建設や廃食用油の回収からBDFの製造・販売までの事業運営を担っています。また、市民や行政とともに「グローバルエコシティ塩竈推進協議会」を設立。環境意識の向上と活動拡大のための普及啓発活動を展開しています。



学校での環境教育の一環として、廃食用油からBDFを作る実験を行い、体験を通してバイオマスの大切さを学ぶ。

BDF事業を広くPRするための、ロゴマークを公募。多くの力作の中から選ばれた作品の授賞式。

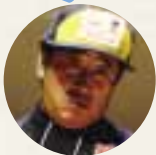


講評

かまぼこ生産という基幹産業での取り組みで、自治体の後方支援のもと環境、経済効果、後継者育成など、地域の重点課題に真に取り組む姿勢が評価されました。活動の内容が具体的に地域にも定着しており、他のBDF関連の「一品」と比較しても、地域特性を生かしているという点が高く評価されました。

受賞者コメント

塩釜市団地水産加工業協同組合 つぶやきセリ人 渡辺
地域水産業の活性化につなげていきます。



当組合のBDF事業は、塩竈市の地域特性を活かした事業であり、地産地消で廃食用油を活用し、街ぐるみで地球温暖化防止に取り組んでいることが認められたと喜んでいます。今後は、さらなる品質の向上と安定供給に努め、

持続可能な事業として推進していきます。また、環境と経済のまちモデル事業を目指して、地域水産業の活性化と企業誘致、雇用の創出につながるよう努力し、取り組みの輪を広げていきたいと考えています。

団体名:塩釜市団地水産加工業協同組合
所在地:宮城県塩竈市新浜町
ウェブサイト:<http://www.city.shiogama.miyagi.jp/html/about/plan/energy/>

都道府県大会の名称 **エコdeスマイルコンテストinみやぎ**